

# 戸山

新宿区立 戸山小学校

## 子どもが主役の学校を目指して

副校長 福井 みどり

本校の学校経営の柱は「子どもが主役の学校」です。教職員一同、この想いを胸に日々努力しております。

「子どもが主役」とは、どういうことでしょうか。子どもの好きなようにさせることや、子どもの希望だけに沿うことではありませんね。子どものために、何が一番大切なのか、何が一番良いのかをチーム戸山として考えています。

「子どもにとって何が今大切か」ということを考えてみると、私自身が親として反省することが多くあります。先日も「ママ、見て！」と、出来るようになったV字バランスを息子が見せてくれました。でも、朝の忙しい時間に言われても「うん。うん。上手ね。」と素っ気ない対応をしてしまい、悲しそうな顔をする息子を見て反省しました。子どもにとって大切なことを意識していれば、一瞬でもその出来た喜びを共有し、一緒に喜んであげることができたのにと後悔しています。日々の忙しさに負けて、大切な瞬間を逃してしまうことが無いようにしたいものです。

しかし、本校の教職員は違います。戸山小に赴任して1年が過ぎましたが、チーム戸山の素晴らしさを日々実感しています。どこかで子どもが泣いていたり、困っていたりしたら、すぐにやってくる先生がたくさんいます。そして、その先生のクラスをフォローする専科の先生達の動きも素早いのです。主事さん達も困っていることがあれば、すぐに駆けつけて助けてくれます。誰が言うわけでもなく、教職員が皆、同じ思いで教育に従事しているからこそ出来ることでしょう。

これからも「チーム戸山」は「子どもが主役」の学校を目指し、子どもたちにとってより良い教育環境を築けるよう努力してまいります。そして、学校と家庭と地域が協力して子どもたちを育てていけるよう、ご協力の程、よろしく申し上げます。

## きまりは、何のために

生活指導主任 市毛 大子

平成28年度が始まり1か月が過ぎました。入学した1年生をはじめとし、どの学年も進級の喜びと緊張から、張り切って4月を過ごしたのではないのでしょうか。5月は、慣れや疲れが出始める頃なので、大人がよく子どもたちを見ていかなければなりません。

生活指導を行う際、「きまりを守りなさい。」と、子どもを注意することがありますが、ただ単に「きまりだから。」という指導では、どうしてその行動がいけなかったのか、何が大切なのか伝わりません。なぜ、そのきまりを守らなければならないか、何のためにそのきまりはあるのか、よく理解させることが大切だと考えます。

戸山小学校では「戸山の生活」という冊子を毎年児童に配布しています。これは、学校での生活についての様々な約束やきまりが書かれているものです。おうちの方にもぜひ、ご一読いただき、戸山小の学校教育についてご協力いただけますと幸いです。今年度もどうぞよろしく願い申し上げます。

## 身体を動かすことは楽しい

体育主任 嶋田 渉

先日、5年生の子どもたちと遠足に行ってきました。楽しい時間を過ごした充実感を感じつつ、私自身は少し疲れを感じていたのですが、何名かの子どもたちがすぐに友達と遊びに行く姿を見かけ驚きました。

身体を動かすことや、汗をかくことの気持ち良さを、多くの子どもたちは実感しています。こうした気持ちを大切に、全ての活動の原動力となる体力を向上させる意味で、戸山小学校では色々な取り組みをしています。「運動会」に始まり「新体力テスト」、「スポーツギネス新宿」、「なわとび旬間」、「持久走旬間」などです。

これらの活動や日々の学習を通して、身体を動かすことの楽しさや気持ち良さを、より実感できる指導をしていきます。今年度も、どうぞよろしく願いいたします。

